

第75回 国民体育大会冬季大会  
スキー競技会(2020.2月予定)の開催について

資料(6)

国民体育大会

日本体育協会、文部科学省、開催県や市町村などが主催し、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展を目的とする日本最大のスポーツの祭典

スポーツ振興はもとより、地域の活性化にもつながることや、選手の励みとなって競技力の強化に結びつくことが期待される。

本県開催の冬季スキー国体

1976年(昭和51年) 第31回大会  
旧大山町で開催  
2000年(平成12年) 第55回大会  
旧大山町、旧上平村で開催



2000年とやま国体冬季開会式(旧大山町)



【国体スキー正式種目】

- ジャイアントスラローム
- クロスカンтриー
- スペシャルジャンプ
- コンパインド  
(ジャンプ+クロスカンтриー)

本県では、2000年とやま国体以来、開催されていない。

第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会(2020年.2月予定)の開催決定

日本体育協会・文部科学省から  
県へ開催要請  
(H29.2.6)

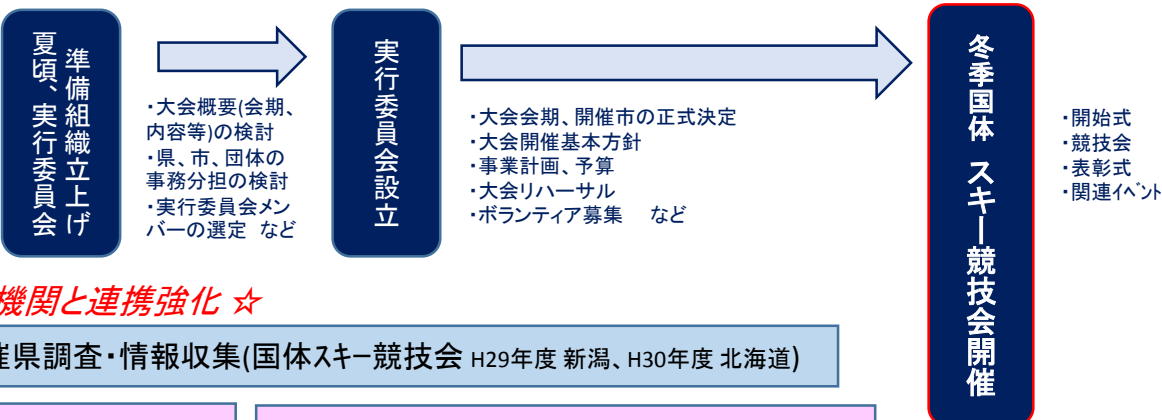
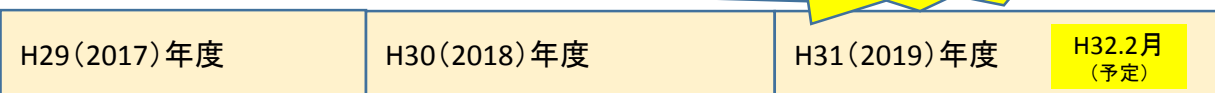
富山市 (H29.3.16)  
南砺市 (H29.3.9)  
県へ開催承諾

日本体育協会・文部科学省へ  
県が開催受諾書提出  
(H29.3.27)

日本体育協会  
理事会で富山県での開催  
が決定 (H29.4.20)  
※知事へ決定書手交  
(H29.4.26)

今後の主なスケジュール

参加者の心に残る  
すばらしい大会に!



☆ 関係機関と連携強化 ☆

先催県調査・情報収集(国体スキー競技会 H29年度 新潟、H30年度 北海道)

施設改修の調査・設計

施設改修の実施

本県選手育成・強化、運営スタッフ育成

新たなスポーツ・文化等多目的施設  
ニーズ調査の今後の進め方

資料(7)

子ども、若者、高齢者まで幅広い層が楽しめる全天候型の文化スポーツ施設(アリーナ)整備が「富山県経済・文化長期ビジョン」(H28. 9)に示されたことから、ニーズ調査、県外施設調査を行う。

□県民アンケート調査

- 目的  
スポーツ・文化活動の状況や要望を把握し、施策に役立てる
- 調査内容(主なもの)
  - ・新しいアリーナの必要性
  - ・アリーナを新設する場合に求める機能
  - ・スポーツや文化活動の実施状況
- 当面のスケジュール
  - H29.7 調査内容の検討、調査の委託契約
  - H29.11 調査票の送付、回収、調査結果のとりまとめ
  - H29.12 調査結果の公表

□県外視察

- 対象施設  
スポーツ大会やコンサートなど多目的に利用できる施設
- 視察内容(主なもの)
  - ・建設費用、費用負担、民間活力の導入
  - ・利用状況、稼働率、周辺地域とのネットワーク

「富山県経済・文化長期ビジョン」

新幹線開業後の「とやま新時代」のスタートにあたり、おおむね30年後の2045年を展望年次とした未来を構想するビジョン

<3つの将来像 × 3つの政策目標>

将来像	経済 (10の構想)	文化 (10の構想)	人づくり (10の構想)
新たな価値創造	生産性向上と新たな価値創造の創出	地域文化が生活に溶け込む「生活文化デザイン王国」の形成	価値想像力を高める学校教育プログラムの確立
グローバル&ローカル	世界に存在感を示す「とやまグローバル戦略」	世界に開かれた「とやま文化」の発信	ふるさと教育とグローバル教育の融合
人・地域が輝く2045	個の力を磨き上げ、潜在力を高める人材戦略の推進	文化芸術の力による「元気とやま」の索引	地域の生産性、問題解決力(地域力)の向上 ・スポーツ活動を通じた県民総活躍の推進ほか

子ども、若者、高齢者まで幅広い層が楽しめる全天候型の文化スポーツ施設(アリーナ)整備